

明石市社会福祉協議会 論文試験問題
(令和8年4月1日付採用)

(A)・(B)・(D) 区分の申込者は下記1～3の問題のうちから1問を選択、(C)・(E) 区分の申込者は下記1の問題を選択し、800字以内で回答してください。なお、論文試験用紙には選択した問題番号・職種コードに○を、また名前を記載してから回答してください。

※記入は、横書き。論文試験用紙は 1枚 400文字となります。手書きの際は、2枚プリントアウトして記載してください。また、PCで入力の際は1枚目をすべて入力すると2枚目になります。書式は崩さないようにしてください。

問 題

- 1 相談支援の実践においては、本人・家族、支援者との「信頼関係」が支援の基盤となる。しかし現場では、価値観の違いや支援方針の不一致、環境的な制約などにより、信頼関係の構築が容易でない場合がある。あなたがこれまでの実践の中で「信頼関係の形成」において難しさを感じた経験を踏まえ、その際にどのような葛藤や課題があったか、支援者としてどのように向き合い、乗り越えようとしたか、その経験を通して学んだ信頼される支援者のあり方について具体的に記載してください。

- 2 自治会長から「この頃この地域で認知症の人が増えてきたように思う。一緒に年を重ねてきた人たちなので、できるだけ住み慣れた地域で過ごしてほしいけど、近隣の人は認知症の方への対応の仕方が分からなくて困る場面がある。どうしたらいいだろう」と相談を受けました。明石市社協職員としてあなたはどのような支援をするか具体的に記載してください。

- 3 明石市社会福祉協議会では、ボランティア活動や身近な圏域での福祉活動の推進、活動者や活動団体、関係機関や関係事業所とのネットワーク構築、個別相談支援、会館管理、法人運営などの業務を進めています。あなたは明石市社協職員として、これまで関わりのなかった人たちにも興味を持ってもらうための情報を届けるためにはどのような取り組みが必要かを具体的に記載してください。